

定例公安委員会

日時：令和7年1月9日 9時00分～11時05分

出席委員：藤森委員長・中尾委員・尾堂委員・増井委員・齋藤委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件名	担当部	出席者
1	初詣に伴う雑踏警備の実施結果	地域部	本部長 総務部長 警務部長 生活安全部長
2 報告	交通事故発生状況（令和6年中）	交通部	地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
3	警護の実施結果	警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長 警察学校長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（21件）	総務部	公安委員会 執務官
2 決裁	外部通報の受付及び受理（2件）		
3 決裁	苦情の調査結果	警務部	住民サービス課長
4 報告	監察案件		首席監察官
5 裁決	自己情報一部開示決定に対する審査請求（5件）		訟務官
6 報告	令和7年交通事故抑止重点対策	交通部	交通事故対策官
7 決裁	警察職員の援助派遣	警備部	警備第一課長
8 報告	常滑市で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応		警備第二課長
9 決定	聴聞等の実施結果・決定 2件	総務部	聴聞官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 地域部

初詣に伴う雑踏警備の実施結果

地域部長から、  
初詣に伴う雑踏警備の実施結果  
について報告があった。

委員から、  
「多くの方が初詣に熱田神宮等に参拝したとのことであるが、大きな  
事案等もなく本当に良かったと思う。」  
旨の発言があった。

#### (2) 交通部

交通事故発生状況（令和6年中）

交通部長から、  
「交通事故死者数は、令和6年中141人で、前年比マイナス4人であ  
り、全国では、東京都に次ぐワースト2位であった。

令和6年中の死亡事故の主な特徴（前年比）は、

- 死者数が減少
- 高齢者が増加
- 歩行者が減少
- 交差点内が減少

である。

令和7年中の主な対策は、

- 安全な交通行動の促進に向けた啓発活動の実施
- 悪質・危険な交通違反の取締りをはじめとした街頭活動の強化
- 交通事故防止及び交通の円滑化に配慮した交通規制の実施

等である。」  
旨の報告があった。

委員から、

「昨年中における当県の交通事故死者数は141人で、全国の交通事故死者数ワースト1位を回避することができた。本年も交通死亡事故抑止対策にしっかりと取り組んでもらいたい。」

旨の発言があった。

### (3) 警備部

警護の実施結果

警備部長から、

警護の実施結果

について報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（21件）

公安委員会執務官から、

12月26日までに届いた公安委員会宛の文書等21件  
について説明があり、決裁した。

### (2) 外部通報の受付及び受理（2件）

公安委員会執務官から、

外部通報の受付及び受理2件  
について説明があり、決裁した。

### (3) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、公安委員会宛での「犯罪捜査等に関する苦情」について、

調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明があり、決裁した。

(4) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(5) 自己情報一部開示決定に対する審査請求（5件）

訟務官から、自己情報一部開示決定に対する審査請求について、  
請求内容の説明並びに裁決書案の提示及び説明  
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(6) 令和7年交通事故抑止重点対策

交通事故対策官から、  
令和7年交通事故抑止重点対策  
について報告があった。

(7) 警察職員の援助派遣

警備第一課長から、  
「令和6年12月13日付けで福井県公安委員会から、本県公安委員会に  
対して、警察法第60条第1項の規定に基づく警察職員の援助要求があり、  
所要の警察職員を派遣したい。」  
旨の説明があり、決裁した。

(8) 常滑市で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応

警備第二課長から、

常滑市で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応  
について報告があった。

(9) 聴聞等の実施結果・決定

聴聞官から、

風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件  
について説明があり、行政処分を決定した。

定例公安委員会

日時：令和7年1月16日 9時00分～11時15分

出席委員：藤森委員長・中尾委員・尾堂委員・増井委員・齋藤委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件名	担当部	出席者
1	報告 「福よせ雛」による広報活動の実施	総務部	本部長 総務部長 警務部長
2		生活安全部	生活安全部長 地域部長
3		刑事部	刑事部長 交通部長 警備部長
4		警備部	名古屋警察部長 情報通信部長 警察学校長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（10件）	総務部	公安委員会 執務官
2 決裁	激励の上申		
3 決裁	警察署協議会委員の辞職		
4 決裁	人事案件	警務部	警務部長
5 報告	警察本部における執務時間外の代表電話廃止の試行実施		警務課長
6 決裁	警察行政手続に関する受付窓口の時間変更の試行実施		住民サービス課長
7 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定		
8 決裁	苦情の調査結果		
9 報告	監察実施結果		監察官
10 決裁	警察職員の援助要求		刑事部
11 報告	特定技能（自動車運送業）に係る外国免許切替	交通部	運転免許課長
12 決裁	優良指定自動車教習所表彰の実施		
13 報告	対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報（令和6年12月中）	警備部	警備総務課長
14 報告	南海トラフ地震臨時情報(調査中)発表に伴う対応		警備第二課長
15 決定	聴聞等の実施結果・決定 55件	総務部	首席聴聞官 聴聞官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 総務部

「福よせ雛」による広報活動の実施

総務部長から、  
「福よせ雛」による広報活動の実施  
について報告があった。

#### (2) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、  
性的虐待等愛好者グループ員による不同意性交等事件の検挙概要  
について報告があった。

委員から、  
「本件は極めて悪質な事件である。徹底した捜査をお願いしたい。」  
旨の発言があった。

#### (3) 刑事部

刑法犯の認知・検挙状況（令和6年中暫定値）

刑事部長から、令和6年中の刑法犯の認知・検挙状況（前年との比較）  
について、

「 刑法犯の認知件数は51,030件で、4,198件増加した  
刑法犯の検挙件数は16,022件で、440件増加した  
刑法犯の検挙率は31.4パーセントで、1.9ポイント減少した

刑法犯の検挙人員は12,585人で、287人増加した  
重要窃盗犯の認知件数は3,649件で、100件減少した  
重要窃盗犯の検挙件数は1,266件で、59件増加した  
重要窃盗犯の検挙率は34.7パーセントで、2.5ポイント増加した  
重要窃盗犯の検挙人員は353人で、64人減少した

- 特殊詐欺の認知件数は1,469件で、112件増加した
- 特殊詐欺の検挙件数は682件で、165件増加した
- 特殊詐欺の検挙率は46.4パーセントで、8.3ポイント増加した
- 特殊詐欺の検挙人員は199人で、21人増加した

手口別では、侵入盗の認知件数は全国ワースト3位、うち住宅侵入盗は全国ワースト2位、自動車盗は全国ワースト1位であった」

旨の報告があった。

委員から、

「昨年中における愛知県の自動車盗認知件数は、全国ワースト1位となっており、自動車盗が極めて多い地域となっている。本年は、自動車盗の減少に向けて被疑者の検挙等をしっかりとお願いしたい。」

旨の発言があった。

#### (4) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和6年12月中及び令和6年中）

警備部長から、令和6年12月中及び令和6年中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「令和6年12月中、4件の許可申請を受理して、全て許可した。また、令和6年1年間では137件の許可申請があり、全て許可した。」

旨の報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（10件）

公安委員会執務官から、  
1月9日までに届いた公安委員会宛の文書等10件  
について説明があり、決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会執務官から、  
性的虐待等愛好者グループ員による不同意性交等事件合同捜査班  
に対する激励の上申があり、決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職

公安委員会執務官から、  
警察署協議会委員の辞職  
について説明があり、決裁した。

(4) 人事案件

警務部長から、  
人事案件  
について説明があり、決裁した。

(5) 警察本部における執務時間外の代表電話廃止の試行実施

警務課長から、  
警察本部における執務時間外の代表電話廃止の試行実施  
について報告があった。

(6) 警察行政手続に関する受付窓口の時間変更の試行実施

警務課長から

警察行政手続に関する受付窓口の時間変更の試行実施  
について説明があり、決裁した。

(7) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、  
障害給付金支給裁定  
について説明があり、原案どおり裁定した。

(8) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、公安委員会宛での「警察官の言動等に関する苦情」  
について、  
調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明  
があり、決裁した。

(9) 監察実施結果

監察官から、  
監察実施結果  
について報告があった。

(10) 警察職員の援助要求

捜査第三課長から、  
「本県公安委員会から岐阜県公安委員会に対して、『愛知県警察・岐  
阜県警察合同捜査事件』捜査のため、警察法第60条第1項の規定に基づ  
き、所要の警察官等の派遣を要求したい。」  
旨の説明があり、決裁した。

(11) 特定技能（自動車運送業）に係る外国免許切替

運転免許課長から、  
特定技能（自動車運送業）に係る外国免許切替  
について報告があった。

(12) 優良指定自動車教習所表彰の実施

運転免許課長から、  
優良指定自動車教習所表彰の実施  
について説明があり、決裁した。

(13) 対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報  
（令和6年12月中）

警備総務課長から、  
対象重要施設における小型無人機等の飛行に関する公安委員会への通報  
（令和6年12月中）  
について報告があった。

(14) 南海トラフ地震臨時情報（調査中）発表に伴う対応

警備第二課長から、  
南海トラフ地震臨時情報（調査中）発表に伴う対応  
について報告があった。

(15) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
○ 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 53件  
○ 風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件  
について説明があり、行政処分を決定した。

定例公安委員会

日時：令和7年1月23日 9時00分～11時30分

出席委員：藤森委員長・中尾委員・尾堂委員・増井委員・齋藤委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件名	担当部	出席者
1	報告	生活安全部	本部長
			総務部長
2	サイバーセキュリティ月間における広報啓発活動の実施	生活安全部	警務部長
			生活安全部長
			地域部長
			刑事部長
			交通部長
			警備部長
			名古屋市警察部長
			情報通信部長
			警察学校長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件名	担当部	出席者	
1	決裁	総務部	公安委員会 執務官	
2	決裁			公安委員会宛文書等の受理（6件）
3	報告	警務部	警務課長	
4	裁定			警察署協議会委員の委嘱（2件）
5	報告			人事案件
6	裁定			犯罪被害者等給付金支給裁定
7	報告			苦情取扱状況（令和6年中）
8	裁定	生活安全部	人身安全対策課長	
9	報告			運転免許取消処分に対する審査請求
10	報告			保有個人情報不開示決定に対する審査請求（2件）
11	報告	交通部	放置駐車対策 センター長	
12	報告			ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく命令等の実施結果
13	報告			放置違反金に関する事務を会社その他法人に委託する際の意思決定に係る専決規定の制定
14	報告	警備部	警備第二課長	
15	報告			駐車監視員資格者証の交付事務に係る専決区分の変更
16	報告	総務部	交通規制課長	
17	報告			自動車保管場所証明等事務に係る手数料の改正（愛知県手数料条例の一部改正）
18	報告	警備部	警備第二課長	
19	報告			常滑市等発生の高病原性鳥インフルエンザへの対応
20	決定	総務部	首席聴聞官 聴聞官	
21	決定	総務部	70件	

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 生活安全部

##### ア 令和6年中における人身安全対処事案の取扱状況

生活安全部長から、

「令和6年中の人身安全対処事案の認知件数は21,920件で、前年と比較し、1,272件、6.2パーセント増加した。」

旨の報告があった。

##### イ サイバーセキュリティ月間における広報啓発活動の実施

生活安全部長から、

「政府が定めたサイバーセキュリティ月間である2月1日から3月18日までの間、事業者、関係機関・団体等と連携した啓発活動等を実施し、県民や事業者のセキュリティ意識の向上を図る。」

旨の報告があった。

### 2 個別審議

#### (1) 公安委員会宛文書等の受理（6件）

公安委員会執務官から、

1月17日までに届いた公安委員会宛の文書等6件について説明があり、決裁した。

#### (2) 警察署協議会委員の委嘱

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の委嘱  
について説明があり、決裁した。

(3) 人事案件

警務課長から、  
人事案件  
について報告があった。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、  
遺族給付金支給裁定  
について説明があり、原案どおり裁定した。

(5) 苦情取扱状況（令和6年中）

住民サービス課長から、  
「令和6年中の苦情の受理件数は73件で、令和5年中に比べ7件減少  
した。」  
旨の報告があった。

(6) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、  
請求内容の説明並びに裁決書案の提示及び説明  
があり、原案どおり裁決した。

(7) 保有個人情報不開示決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、保有個人情報不開示決定に対する審査請求について、

請求内容の説明並びに裁決書案の提示及び説明があり、いずれも原案どおり裁決した。

(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく命令等の実施結果

人身安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく命令等の実施について、

「令和6年12月中は、押し掛け等を理由に10件の緊急禁止命令等を実施した。また、粗野乱暴等を理由に15件の警告を実施した。」旨の報告があった。

(9) 放置違反金に関する事務を会社その他法人に委託する際の意思決定に係る専決規定の制定

放置駐車対策センター長から、

放置違反金に関する事務を会社その他法人に委託する際の意思決定に係る専決規定の制定について報告があった。

(10) 駐車監視員資格者証の交付事務に係る専決区分の変更

放置駐車対策センター長から、

駐車監視員資格者証の交付事務に係る専決区分の変更について報告があった。

(11) 自動車保管場所証明等事務に係る手数料の改正（愛知県手数料条例の一部改正）

交通規制課長から、

自動車保管場所証明等事務に係る手数料の改正（愛知県手数料条例の一部改正）について報告があった。

(12) 常滑市等発生の高病原性鳥インフルエンザへの対応

警備第二課長から、  
常滑市等発生の高病原性鳥インフルエンザへの対応  
について報告があった。

(13) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

○ 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果	67件
○ 風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果	3件

について説明があり、行政処分を決定した。

定例公安委員会

日時：令和7年1月30日 10時00分～11時00分

出席委員：藤森委員長・中尾委員・尾堂委員・増井委員・齋藤委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件名	担当部	出席者
1	特別賞及び優秀警察職員表彰式の実施	警務部	本部長 総務部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長 名古屋市警察部長 情報通信部長 警察学校長
2	2月の行事予定[書面報告]		報告

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（4件）	総務部	公安委員 執務官
2	報告 監察案件	警務部	首席監察官
3	裁決 行政文書不開示決定に対する審査請求（4件）		訟務官
4	決定 聴聞等の実施結果・決定 65件	総務部	首席聴聞官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 警務部

##### ア 特別賞及び優秀警察職員表彰式の実施

警務部長から、  
「2月12日、警察本部講堂において特別賞及び優秀警察職員表彰式  
を実施する。」  
旨の報告があった。

##### イ 2月の行事予定（書面報告）

警務部から、  
2月の行事予定  
について書面報告があった。

### 2 個別審議

#### (1) 公安委員会宛文書等の受理（4件）

公安委員会執務官から、  
1月23日までに届いた公安委員会宛の文書等4件  
について説明があり、決裁した。

#### (2) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(3) 行政文書不開示決定に対する審査請求（４件）

訟務官から、行政文書不開示決定に対する審査請求について、請求内容の説明並びに裁決書案の提示及び説明があり、いずれも原案どおり裁決した。

(4) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 65件  
について説明があり、行政処分を決定した。